

防災情報を収集しましょう

配信される防災情報を登録・確認しましょう

荒尾市防災情報伝達システム

「荒尾市防災情報伝達システム」は屋外拡声子局や市ホームページといった不特定多数を対象とした情報発信媒体と、荒尾市防災アプリや登録制メール(愛情ねっと)、緊急速報メールなどの個人に対する情報発信媒体という、防災情報伝達手段を複数確保した設備であり、災害時において迅速かつ確実に情報伝達を行うことを目的としています。

市における 情報伝達手段

- 防災アプリ【スマートフォン対応】
- 登録制メール(愛情ねっと)【携帯電話対応】
- 屋外拡声子局【屋外に設置する大型スピーカー】
- 屋内受信機【戸別に設置する受信機】
- 市ホームページ
- 緊急速報メール
- 電話自動応答機能



荒尾市防災アプリ

「荒尾市防災アプリ」は災害発生時において、市からの防災情報をプッシュ式で通知するアプリです。

災害発生情報などリアルタイムな情報を収集することができ、平常時においては市からのお知らせを取得することができます。



メール

●安心安全メール配信サービス「愛情ねっと」

「愛情ねっと」は、登録した利用者等に対して、主に大牟田、荒尾地域の防犯・防災等の情報、その他様々な行政情報等をメールでお知らせします。

- 登録方法**
- ①下記のURLまたはQRコードにアクセスし、空メールを送信。
スマートフォン・携帯電話など <http://ai-jo.net/Community/mobile/>
パソコン <http://ai-jo.net/Community/>
 - ②返信されたメールから本文の内容に従い登録用の画面を開いて受信を行いたいカテゴリーを選択し、「登録」ボタンを押す。
 - ③登録完了メールが届く。

その他 上記のURLもしくはQRコードの画面から、内容(配信カテゴリー)の変更や配信停止を行うことができます。登録は無料ですが、通信料は利用者負担となります。メールアドレスの変更があった際は、「新規登録」から再度登録をお願いします。



●熊本県防災情報メールサービス 登録料は無料です(通信料は利用者負担)。

配信する内容

- 警報(大雨、洪水、高潮、津波など)
- 避難勧告等の情報
- その他の防災等に関するお知らせ
- 土砂災害警戒情報
- 国民保護に関する情報
- 震度3以上の地震情報
- 危機管理に関する情報

- 登録方法** 「かんたん設定」登録の場合
- ①entry@anshin.pref.kumamoto.jp またはQRコードにアクセスし、空メールを送信。返信メールに記載してあるアドレスにアクセスする。
 - ②「かんたん設定登録」を選択し、受信する市町村を設定。
 - ③「設定完了」ボタンを押すと登録完了。

※携帯電話などで迷惑メール防止対策の設定をされている方は、登録される前に[bousaimail@anshin.pref.kumamoto.jp]からのメール受信が可能なように設定を行ってください。



●緊急速報メール

気象庁が配信する情報、市が発信する避難情報を、特定地域内のスマートフォン・携帯端末に対して一斉配信します。観光や仕事、一時的に滞在している方も受信できます。(登録不要、受信料無料ですが、受信設定については各携帯電話会社Webサイトをご確認ください。)



自ら防災情報を入手しましょう

テレビ

地上デジタル放送対応のテレビでは、リモコンの「d」ボタンを押すことで天気予報や災害に関する情報を確認することができる「データ放送」を配信しています。

NHKや民放各局で配信されており、河川水位や雨量の状況も知ることができます。



ラジオ ~FMたんと 79.3MHz~

FMたんととは、地域に密着したコミュニティFM局です。アプリ版では、災害情報をはじめとするお知らせなど、文字情報の配信も行います。FMたんとを聴くには、「FMプラプラ」アプリのダウンロードが必要です。

※FMたんとアプリ「単局版」が、令和3年3月末を目途に配信を終了し利用不可となります。「単局版」でお聞きいただいている方は、お早めに「統合版」への切り替えをお願いします。



インターネット

荒尾市

荒尾市ホームページ

荒尾市 検索

<https://www.city.arao.lg.jp/>

荒尾市公式Facebook「よかとこあらお」

よかとこあらお 検索

<https://www.facebook.com/araocity1942/>

熊本県

防災情報くまもと

防災情報くまもと 検索

<https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp>

熊本県統合型防災情報システム

熊本県 統合型防災情報 検索

<http://www.bousai.pref.kumamoto.jp/>

熊本県 土砂災害情報マップ

熊本県 土砂災害情報マップ 検索

<http://sabo.kiken.pref.kumamoto.jp/website/sabo/kuiki/>

熊本県 山地災害危険箇所マップ

熊本県 山地災害危険箇所マップ 検索

<http://sabo.kiken.pref.kumamoto.jp/website/chisan/>

国土交通省

国土交通省 川の防災情報

川の防災情報 検索

<http://www.river.go.jp/>

気象庁

気象庁ホームページ

気象庁 検索

<https://www.jma.go.jp/>

雨雲の動き(高解像度降水ナウキャスト)

高解像度降水ナウキャスト 検索

<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>

洪水警報の危険度分布 → P26

危険度分布 洪水 検索

<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>

大雨警報(浸水害)の危険度分布

危険度分布 浸水害 検索

<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>

大雨警報(土砂災害)の危険度分布 → P28

危険度分布 土砂災害 検索

<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>

はじめに

日頃から備える

避難について

災害から身を守る

洪水・土砂災害ハザードマップ

役立つ防災知識

避難行動を考えておきましょう

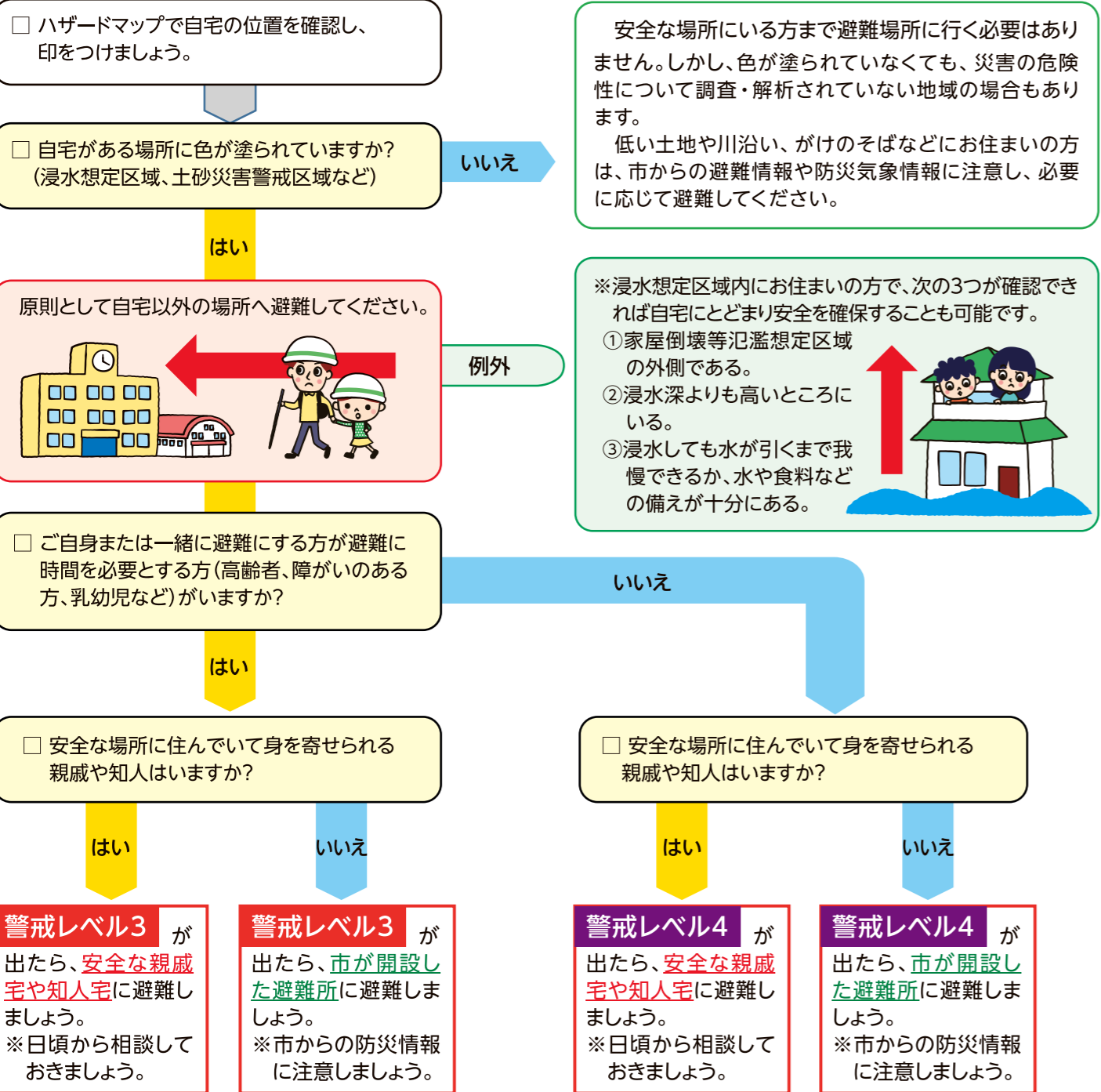
とるべき避難行動を考えておきましょう

災害発生時に人は「自分は大丈夫」といった「正常化の偏見」という心理状態に陥るといわれています。そのような状態にならないよう、次のような点に気をつけておきましょう。

- 「避難しよう」と判断するのはあなた自身です。避難することで助かるのは、「あなたの命」であることを強く認識してください。
- 実際に災害が発生せず、避難したことが「空振り」に終わったとしても、「被害がなくて幸運だった」と前向きに受け止めましょう。
- 過去の災害で大丈夫だったからといって安心できません。過去より悪い方向に状況が進む場合があります。
- 夜間から明け方にかけて大雨や台風の接近が予想される場合は、明るい時間帯での避難を呼びかけます。早めの避難行動を心がけてください。

避難行動判定フロー

「自分の命は自分で守る」という意識を持ち、自宅周辺の災害の危険性やとるべき行動を平常時に確認しておきましょう。



避難判断の情報～5段階の警戒レベル～

水害・土砂災害について、5段階の警戒レベルの名称や考え方が令和3年(2021年)から変わります。もしもの時には、情報をより早く、より正確に知り、避難情報に応じた避難行動を取りましょう。

警戒レベル	状況	住民がとるべき避難行動等	行動を促す情報
5	災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保【市が発令】
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~~~~~			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示【市が発令】
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難【市が発令】
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨注意報 洪水注意報など【気象庁が発表】
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報【気象庁が発表】

※災害の状況が急変した場合は、警戒レベル1～5の順番で避難情報が発令されるとは限りません。

**警戒レベル5** は、既に災害による被害が発生した大変危険な状況であり、このタイミングでは避難することが危険な場合もあります。直ちに命を守る行動をとってください。大規模災害において、市が災害の状況を把握できるものではない等の理由から、発令されないことも想定されます。

**警戒レベル3** は、高齢者等以外においても避難を検討し始めるタイミングになります。危険を感じたり、自宅周辺に変化があった場合は、自主的に避難をしましょう。

## 避難にかかる時間を考えましょう

避難にかかる時間を計算して、避難行動を開始するタイミングを考えましょう。



はじめに

日頃から備える

避難について

災害から身を守る

洪水・土砂災害ハザードマップ

役立つ防災知識

# 避難所一覧

## 指定緊急避難場所・指定避難所

**指定緊急避難場所**：災害が発生し、又は発生するおそれがある場合にその危険から逃れるための避難場所

**指定避難所**：災害により家に戻れなくなった住民等を一時的に滞在させるための避難所で、**第1次避難所**と**第2次避難所**に区分

**第1次避難所**：大雨・洪水、台風の接近等により、被害に遭うおそれのある場合など、自主的に避難される皆さまを受け入れる施設です。

**第2次避難所**：主に大地震・津波等による大規模災害時に、市内全域に開設する避難所です。

※ただし、被害の状況により開設できない施設も発生することが考えられますので、ご注意ください。

地区	指定避難所名	指定緊急避難場所	住所	電話番号 (0968)	災害種別				海拔 (m)	掲載 ページ
					水害	土砂災害	津波高潮	地震		
荒尾	荒尾市役所		宮内出目390	63-1111	○	○	×	○	3.8	P32, P39
	荒尾第一小学校	○	荒尾981-2	63-0065	○	○	○	○	10	P39
	荒尾海陽中学校		荒尾1828	62-7840	○	○	○	○	12	P39
	松ヶ浦環境センター		宮内1081	62-0865	○	○	○	○	18	P33, P40
万田	万田小学校	○	万田696-1	63-0138	○	○	○	○	10	P32
	メディア交流館		大正町二丁目3-2	69-0552	△ 2層以上	○	×	○	3.9	P32
万田中央	万田中央体育館		万田178	63-1395*	○	○	○	○	13	P33
井手川	深瀬の森体育館		下井手193	63-1395*	○	△	○	○	20	P34
	万田炭鉱館	○	原万田213-31	64-1300	○	○	○	○	19	P33
中央	ふれあい福祉センター		川登1777-12	68-6205	○	○	○	○	24	P41, P49
	運動公園管理事務所		荒尾4051	62-5163	○	○	○	×	31	P41
	東大谷(旧ポリテク)体育館		荒尾4409	62-0179	○	○	○	○	20	P34, P41
緑ヶ丘	荒尾総合文化センター	○	荒尾4186-19	66-4111	○	○	○	○	20	P41
	緑ヶ丘小学校		荒尾4238	66-0461	○	○	○	○	33	P42
	荒尾第三中学校		本井手700	66-0462	○	○	○	○	47	P35, P42
平井	平井小学校		上井手1108	66-0854	○	△	○	○	25	P36
	みどり蒼生館	○	平山2119-3	66-4700	○	○	○	○	50	P36, P43
府本	府本小学校		樺2313-2	68-0004	○	○	○	○	51	P52
八幡	荒尾第四中学校		野原1528	68-0014	△ 2層以上	○	○	○	18	P51
	小岱工芸館	○	野原1523	68-7400	○	○	○	○	19	P51
有明	有明小学校	○	一部305	63-0156	○	○	○	○	18	P47
	中央公民館		増永633	62-0051	○	○	○	×	10	P39, P47
清里	清里小学校	○	牛水1555	68-0191	○	○	○	○	18	P55
桜山	桜山小学校	○	桜山町三丁目25-1	68-0201	○	○	○	○	14	P49

※災害の発生状況によっては、あらおシティモールを避難所として開設する場合があります。

[○]…災害種別に対応可能な避難所又は整備済の施設設備

[△]…災害の状況に応じて、避難所の開設の十分な協議の上、開設の対応が必要な避難所

[×]…災害種別に対応に不適合な施設又は未整備の施設設備

★マークの電話番号は、防災安全課の電話番号となります。

※状況によって受け入れ人数を制限する場合があります。

## 福祉避難所・福祉子ども避難所

福祉避難所・福祉子ども避難所は、市内に地震及び風水害、その他の大規模災害が発生し、市が災害救助法の適用を受けた場合等で、避難生活が長期化するときに、指定避難所等での避難生活が困難な要配慮者を受け入れてもらうための施設です。

これらの施設は、避難生活が長期化する場合に設置される二次的な避難所となりますので、被害状況や避難者の状況等を踏まえて、荒尾市と協定を締結した施設等に対し、市から開設の要請を行います。

### ※ご注意ください！福祉避難所・福祉子ども避難所へは直接避難できません！

福祉避難所・福祉子ども避難所には、直接避難できません。これは、福祉避難所・福祉子ども避難所が平常時には入所又は通所施設、学校施設として運営されており、災害時には各施設の安全確保や職員の配置等の確認を行ったうえで、施設の空きスペース等を利用して開設する必要があるためです。

災害発生時には、まず市の指定避難所へ避難をお願いします。

種別	施設名	住所
福祉避難所	特別養護老人ホーム 白寿園	一部2122
福祉避難所	特別養護老人ホーム オレンジヒル小岱	樺2516
福祉子ども避難所	熊本県立荒尾支援学校	増永2299-3

### 避難所に行く前に確認しておきましょう

- 避難所開設状況の確認しましょう… 避難所開設状況は、荒尾市防災アプリや市のホームページ等で確認することができます。
- 食料や毛布は各自で持参しましょう… 場合によっては、食料や毛布が支給されないこともあるので、各自で持参しておきましょう。

## 一般的な避難のポイント

災害別に確認しましょう

地震…P17

津波…P19

高潮…P21

風水害…P25

土砂災害…P27

### 一人暮らしの高齢者などには気配りを

近所に一人暮らしの高齢者や病気の方がいる場合は、声を掛け合って一緒に避難しましょう。



### 速やかに避難しましょう

避難に関する情報が発令された場合、速やかに避難しましょう。避難の際には警察・消防などの指示に従いましょう。



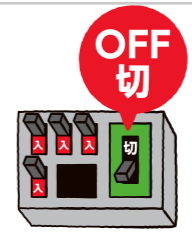
### 災害用伝言板・SNSで連絡する

災害発生時は、電話が通じなくなることを想定し、SNSなどの連絡手段を複数用意しましょう。熊本地震では、SNSが活躍しました。



### 避難する前に

電気のブレーカーを落とし、ガスなどの元栓を閉め、親戚や知人などに避難することを連絡しておきましょう。



### 車での避難は控えて

車での避難は緊急車両の通行の妨げになり、交通渋滞を招きます。特別な場合を除き、徒歩で避難しましょう。



## 要配慮者の避難に対する支援の一例

高齢者や障がいのある方など、災害時において特に配慮を要する方は、地域のみなさんの支援が必要です。

### 高齢者・病気の方

- 背負う(または担架、リアカーなどを利用する)などして安全な場所まで避難する。
- 複数の介助者で対応する。



### 車いすを利用している方

- どのように介助したらいいか、本人に確認する。
- 階段では2人以上が必要。
- 上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。



### 目の不自由な方

- 声をかけ、情報を伝える。
- 誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持つてもらい、半歩前をゆっくり歩く。



### 耳の不自由な方

- 話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。



# 避難所生活について

避難所に到着したら、住所・氏名・連絡先を受付で伝え、できるだけ隣近所の人や地域ごとにまとめて過ごすようにします。帰宅困難者は、その旨も受付に伝えましょう。



## 避難所でのマナーとルール

避難所の生活では、他の人の居住スペースに立ち入ったり、のぞいたり、大声を上げたり、決められた場所以外で喫煙するなどの行為はマナー違反です。

ルールを守り、避難者もできる範囲で役割分担をして助け合いながら生活しましょう。

### ① ゴミのマナー



原則として、ゴミは各自で持ち帰ることになっています。長期の避難生活になった場合は、ゴミの分別について協力していきましょう。

### ② 時間のマナー



避難所では夜間に消灯時間などを設けることがあります。避難生活において、休めるときにゆっくり休むことが重要になりますので、みんなで協力しましょう。

### ③ 出入りのマナー



避難所を出入りするときは、避難所担当者へお知らせください。不審者等の出入りを防ぐ効果があります。また、避難所を退去して自宅等に戻られる際も同じになります。

## 健康への配慮

### ■メンタルヘルス (心の健康)

避難所生活では、災害で大きな被害を受けたことへのショック、不自由な現状や将来的な生活再建への不安などを和らげるメンタルヘルス対策も重要です。苦しいときは遠慮せず、避難所を訪れる医療や福祉の専門家に相談しましょう。

### ■体調・衛生管理

急激な環境変化で体調を崩さないように心がけましょう。トイレの清掃やゴミ捨て当番などを決めて衛生管理をしましょう。また、エコノミークラス症候群の予防のために軽い体操やストレッチを行うことも重要です。さらに、歯ブラシがない場合の口腔ケアとしては、少量の水やお茶でのうがい、ティッシュペーパーを使って歯の汚れを取るなどができます。



### ■感染症対策

避難所では、以下の感染症対策に取り組み、感染症拡大の防止に努めましょう。

- こまめに手洗い・うがい・アルコール消毒をしましょう。
- 避難所内ではマスク着用を原則とし、咳エチケットなど基本的な感染症対策を徹底しましょう。
- 食事前には必ず手洗いをし、食べ物には素手で触らないようにしましょう。
- 食材は生ものを避け、できるだけ加熱調理をしましょう。賞味期限や消費期限にも注意しましょう。



## 災害時こそ思いやりと支援を

妊産婦、乳幼児、高齢者、外国人、障がいのある方などに対して、思いやりと支援を心がけましょう。

### ■高齢者への配慮



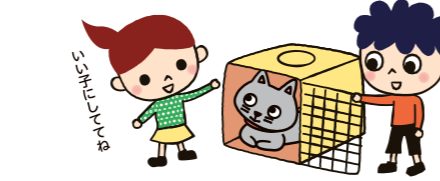
高齢者は、不便があっても自分から言い出せないことがあります。明るい声で頻りに話しかけ、孤独感や不安感を抱かせないよう配慮しましょう。

### ■外国人への配慮



生活文化の違いや言葉を理解できずに、不安を抱えてしまうかもしれません。外国語を理解できる仲介者や通訳を介し、きちんと情報を伝えることが大切です。

### ■ペットの管理



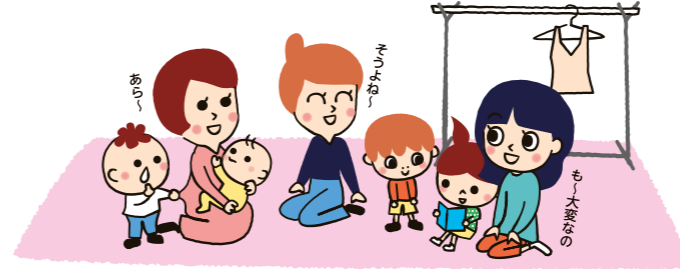
避難生活でのペットを巡るトラブルを防ぐには、普段からのしつけやペット用品の準備が必要です。ペットを連れて避難する場合は、避難所のルールに従って、飼い主がしっかりと責任を持ちましょう。

# 男女共同参画の視点による防災

## 避難所の環境整備

### ●男女別スペースの確保

着替えや授乳などのために人目につかないスペース、男女別の洗濯や物干しスペースを確保するなど、誰もが安心して利用できるよう配慮しましょう。また、それらの場所については、周囲の視線を気にすることなく安心して男女特有の悩みや弱音、おしゃべりができる男女別交流スペースとしても利用することができます。



### ●女性用品の配布

女性用品は女性が配布するようにします。また、女性用の物資を女性更衣室やトイレに置くことで、人目を気にせず自分に合ったものを選ぶことができます。

### ●犯罪や暴力の防止

夜間や人通りの少ない場所での犯罪や性暴力を防止するため、単独での行動は可能な限り避けましょう。トイレや着替えをするときは、使用前に不審な点がないかを確認し、見張りを立てるなどの対策をしましょう。

いざという時に備えて、普段から防犯ブザーやホイッスルなど大きな音が簡単に出来るものを持つようにしましょう。また、男女一緒に防犯対策を行うことも効果的です。



### ●妊産婦への思いやり

妊娠中の女性や産後間もないお母さんは、清潔、保温、栄養をはじめとする健康面やプライバシーに配慮する必要があります。

防犯ブザーは、体調不良時の備えとしても活用できるよ!

## 子育て世代の防災

- 災害対応の備蓄品は、子どもの成長に合わせて備えましょう。また、子どもの成長に合わせて定期的に見直すことも重要です。
- 避難する場合は、子どもを安心させるための好きなおやつ、気持ちを落ち着かせるためのお気に入りのオモチャなどを用意しましょう。
- 避難所生活では、ストレスによりお母さんの母乳が止まってしまう可能性があります。ミルク(粉や液体)だけでなく、衛生的な哺乳瓶または使い捨ての哺乳瓶を用意しておきましょう。哺乳瓶の衛生が確保できない場合は、紙コップ等を使って少しずつゆっくり飲ませることもできます。

## 女性や子育て世代の持出品

長期避難の場合は、掲載しているもの以上の品目が必要になります。日頃から不足がないよう備え、災害発生時においても、"日常"を再現できるよう努めましょう!

- #### 女性用品
- 化粧水・保湿クリーム
  - 化粧品など
  - 生理用ナプキン(長時間用もあるとよい)
  - サニタリーショーツ
  - 清浄綿
  - おりものシート
  - 中身の見えないごみ袋

- #### 紙おむつ用品
- 小児用紙おむつ
  - おしりふき
  - 中身の見えないごみ袋
  - 乳幼児用着替え

- #### 授乳用品
- 粉ミルク(調整粉乳)・液体ミルク
  - アレルギー用ミルク
  - 乳幼児用飲料水(軟水)
  - 哺乳瓶・使い捨て哺乳瓶
  - 哺乳瓶用の消毒剤

- #### その他
- 抱っこ紐
  - 授乳用ポンチョ
  - お気に入りのおもちゃ
  - 母子健康手帳
  - アレルギー等を記載したメモ帳
  - 女性用下着
  - タオル
  - 体温調整用品(タオルケット、携帯扇風機など)
  - 防犯ブザー・ホイッスル

- #### 離乳食用品
- ベビーフード(アレルギー対応食を含む)
  - スプーン

はじめに

日頃から備える

避難について

災害から身を守る

洪水・土砂災害ハザードマップ

役立つ防災知識